

名都借の木



2024年10月8日発行
発行者:流山市立木の図書館
(指定管理者:株式会社すばる)
住所:流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000



2024年度読書週間 10/27-11/9

「この一行に 逢いにきた」

今年の読書週間の標語は

「この一行に 逢いにきた」

です。作者の中山実穂さんによれば、

「本の中にグッとくる一行があって、…この一行に出会うため
読んでいるのだ」

という幸せな気持ちを感じるのとことです



熊梨江さんによる
読書週間ポスター

あの棚をめざして

グッとくる一行、それにたどり着くために、書評を見たり、実際に本を手
取って冒頭や結末を見たり、いろいろなやりかたがあると思います。

過去に出版されたり、流行していないけれど充実した内容の本など、書店に並んでいるものとは
違う本を手にとって見る事が出来るのも、図書館を使う大きなメリットのひとつでしょう。

図書館には書評や読書案内もあり、それらもまたひとつの作品として楽しむことが出来るので、
請求記号 019.9 の本をご覧になってみてください。

その一行にたどり着く

効率よく読書をするために、速読術などほか、朗読
動画を何倍もの速さで再生して時間当たりの「入力量」
を増やす、という方法も出てきました。

しかし齋藤孝は「一行でわかる名著」の冒頭で、さらっ
と眺めるような本の読み方でも繰り返すうちに気付く、
核心としての「その一行」に触れることで、魂への響き方
が違って来る、とっています。

AI が文章を「表面的に読む」ために「誤読」をする、と
いう現象は、この文脈において示唆深く思えます。



請求記号 019.9 に分類されている、読書の
方法や案内の本

AI が見る幻覚



AI は、万能の機械と思われてきましたが、
最近になって学習した文章を誤読し間違っ
た解釈を出力する「ハルシネーション(幻覚)」と
いう現象を起こしたり、学習元データの権利や
プライバシーの保護など、いろいろな問題が
見えてきました。

そこで、なんでも AI に任せるのではなく、
人間が道具としてうまく使っていこう、という
考え方になってきています。

AI については請求記号 007.1~3 に解説
書がありますのでご利用ください。



AI に関する解説書。この技術は日進月歩なので
なるべく新しい本をご利用ください。

美味しい本



むかしの味
池波正太郎

新潮文庫

池波 正太郎／著
『むかしの味』
(新潮社)

食通で知られる池波正太郎の「食」に関する随筆。語られているお店の魅力は、食べ物の味だけでなく、お店の人々の人間味というところ。

現在はもうないお店もありますが、お店に足を運んでみるのも、ご自身の懐かしい思い出の味に思いを馳せるのもおすすめの一冊。



この本もおすすりめです！



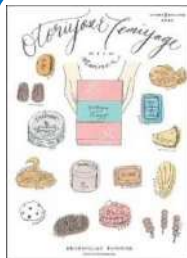
嵐山 光三郎／著
『文人悪食』
(新潮文庫 新潮社)



秋川 滝美／著
『田沼スポーツ 包丁部!』
(幻冬舎)



他にこんな本もあります！



センスの良い手土産がとても参考になります。たまには自分へのご褒美にお取り寄せしてみるのなんていかがでしょうか？

オナサローネ編集部／著
『お取り寄せのたしなみ 手みやげの作法』
(主婦の友社)



特別な材料や調味料は使わずに美味しいお弁当が作れる一冊。気負わない素朴なおかずばかり。見ているだけでおなかが鳴ってしまいそう…

船橋 律子／著
『六甲かもめ食堂の野菜が美味しいお弁当』
(誠文堂新光社)

木の図書館イベント情報

毎回、ご好評いただいております「ゲームの日」。次回開催は11/17(日)です！トランプやUNOはもちろん、バランスゲームや水平思考ゲームなどをご用意。小さなお子様から大人の方まで楽しんでいただけるよう、豊富なラインナップでお待ちしております。お一人でのご参加も大歓迎です。

私たちと一緒にゲームで盛り上がりましょう！

今年度のゲームの日イベントは、11/17 2/2の開催です。

その他に、秋もイベントがたくさんございます。受付等の詳細は、広報ながれやまや、館内ポスター、木の図書館HPなどでお知らせいたします。

みなさまのご参加、お待ちしております。





子どもの木



ディスレクシアってなあに？



ディスレクシアは、生まれつきの脳の機能の問題で、文字を読んだり、書いたりすることが難しい症状です。目や耳の動きには異常がないのに、文字を読み取ったり、思い起こして書いたりすることが正確に、すらすらとできないのです。また、文字が歪んだり、かすんだりしているように感じる、という人もいます。一生懸命読もうと努力してもうまくいかなかったり、すらすら音読できなくてばかにされたりして、不登校になってしまう子もいます。

そのような困りごとは、周りの人のサポートや便利な道具の活用によって、解決できることもあります。

それには、多くの人々が、ディスレクシアの人にはどんなことに困っていて、どのようにサポートすればいいのかを知らなければなりません。

ディスレクシアについて知るための本や、ディスレクシアの症状を抱えた主人公が活躍する本がたくさん出ていますので、そのうちのいくつかをご紹介します。



障害があってもいっしょだよ！④ 読み書き障害のあるぼくの毎日

マリ・シュー／文
イザベル・ムニョス／絵
上田勢子／訳
高橋登／日本語版監修
(大月書店)



ぼくのこころが うたいたす！

アンドレア／バイティー／作
デイヴィッド・ロバーツ／絵
かとうりつこ／訳
(絵本塾出版)



11 をさがして

パトリシア・ライリー・ギフ／作
岡本さゆり／訳 佐竹美保／絵
(文研出版)



NHK ふつうってなんだろう？えほん もじをよむのが にがてなんです

柳家花緑／語り 姫田真武／絵
NHK「ふつうってなんだろう？」
制作班／編
(ほるぷ出版)



木の図書館では
10月のディスレクシア月間に合わせて、
関連する本の展示を行います。
ここに紹介した本も展示する予定です。
見に来てね！



これからの木の図書館

連絡先
木の図書館
電話:04-7145-8000

年末年始の休館のお知らせ

流山市立図書館では、
12月29日(日)から1月4日(土)の間は、
休館となります。



郷土へのいざない vol. 41 ～旧水戸街道散歩 その6

ニツ木の交差点近くの蘇羽鷹(そばたか)神社を北に進んで
いくと小金宿に着きます。

現在の JR 北小金駅前のイオンあたりから国道6号線までの
間にありました。南北におおよそ1km程の大ききで宿場町として
は大きかったそうです。

小金宿の次の我孫子宿までの距離は約10kmでした。この
ふたつの宿の間には江戸幕府直轄の馬の放牧地「小金牧」が
あり、水戸街道はその牧の中を通っていました。



小金宿があった場所の案内板



現在の北小金駅近郊にあった
小金宿には旅籠のほかに一般大名
が泊まる本陣、水戸家専用の旅館
「水戸御殿」がありました。

今も「旧(きゅう)旅籠(はたご)・
玉屋(たまや)」の一部が残されて
いて、格子の出入り口が当時の建物の
雰囲気を残しています。

旅籠玉屋

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

 は休館日
 は17:00まで開館
 はおはなし会
 はイベント
 はあかちゃんおはなし会

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)
 開館時間 火曜日～土曜日 :9時30分～19時
 月末日(土・日・祝日を除く)
 日曜日、祝日、12/28 :9時30分～17時
 年末年始(12/29～1/4)